

東京都の農業産出額の構成割合は、

下記のとおりであり、

**花き、果樹の占める割合が比較的高い** ことも特徴です。

また、植木においても、

バラエティの富んだ樹種を有する

**独自の発展**を遂げ、

日本の植木生産をリードしています。

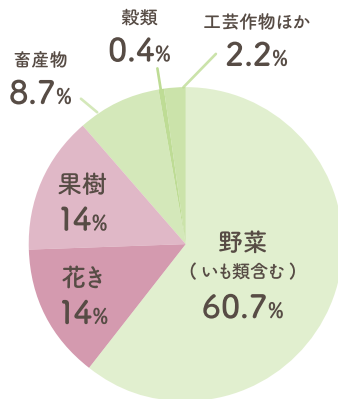
このテキストでは、

東京都における

**花き・果樹・植木生産**の特徴や

オリジナル品種を紹介しています。

援農活動申込時の参考にしてください。



## ご存じですか？ 「東京オリジナル品種・ブランド品種」

東京都で栽培されている花き・果樹の中には、東京都農林総合研究センターが開発し、品種登録された東京オリジナル品種や地域が誇る特産品のブランド品種があります。

シクラメン	おだや香 はる香ミディ
ブバルディア	東京スターシリーズ 東京ダブルスターシリーズ
ブドウ	高尾
ナシ	稲城
キウイフルーツ	東京ゴールド
カキ	東京紅



### 事務局連絡先

(公財) 東京都農林水産振興財団 農業支援課  
広域援農ボランティア事務局

〒190-0013 東京都立川市富士見町 3-8-1

☎ 042-528-1357 ✉ supporter@tdfaff.com



## とうきょう援農ボランティア

～花き・果樹・植木編～



## 花き

東京都の花き生産は、地域の特性を生かした鉢花、観葉鉢物、花壇苗、切花、切葉などの様々な経営形態があります。

直売用のシクラメン、ポインセチアを中心とした鉢花やパンジー、ビオラを筆頭とした花壇苗は、消費地に近い環境で生産できる特性を生かし、区部及び多摩地域で栽培されています。

一方、温暖な島しょ地域では、ブバルディア、フリージアなどの切花や、フェニックスロベレニー、レザーファンなどの切葉栽培が盛んです。



ブバルディア



フェニックスロベレニー



ブルーベリー



シクラメン



植木



ナシ



カキ



パッションフルーツ



ぶどう



花壇苗

## 植木

江戸時代以降、多くの植木が地方から江戸に集められたことから卓越した技術を持つ栽培者が多く現れ、植木生産が発展しました。

現在では立川市を中心に、国分寺、三鷹市、小平市、西東京市、調布市等で生産されています。また、植栽地に近い利点を生かし、街路樹や公共緑化向けの樹木、庭木等の生産に加え、造園業まで一貫して行う経営も多くあります。

## 果樹

東京都の果樹生産は、ニホンナシ、カキ、ウメ、ブドウ、クリなどが主な栽培品目です。

近年ではブルーベリーやキウイフルーツも増加傾向にあります。

また、島しょ地域では、パッションフルーツなどの熱帯果樹やレモンなどの柑橘類が生産されています。